

和光市民59年 ふるさと和光を守る！

富澤けいじ版

2018年秋号
9月議会特集

公明党 和光市議会議員
文教厚生委員・議会運営委員
和光市立第五小、第二中出身
城西川越高、獨協大学卒
和光市南1-22-8
☎/Fax048-467-0897
keiji048467@gmail.com

9月定例議会で質問しました

①熱中症予防に「クールオアシス」の周知を！

この夏は大変な猛暑で、熱中症にかかる方が続出しました。熱中症対策として、県は公共施設や企業など、外出時に暑さをしのぎ、休憩できる「クールオアシス」を実施していますが、あまり周知されていません。更なる周知徹底を要望しました。

市保健福祉部長より、「施設には『わこうクールオアシス』ポスターを掲示し、市民へ施設の周知を行っております。また、次年度以降も熱中症予防対策として、クールオアシスを実施してまいりますので、新たな開放施設の検討や施設の案内など、広く取り組みの周知を行ってまいります。」との答弁を得ることができました。

②小中学校にICT(情報通信技術)機器の充実を！

今や、誰もがICTに触れる時代になりました。子供たちが生きるのに必要な資質・能力を育むには、学校生活や学習で、日常的にICTを活用できる環境整備が大事です。そこで、①小中学校にICT機器(コンピュータ、タブレット、電子黒板等)の充実。②教員がICT機器を活用できるよう教員研修の充実。③ICT化による教職員の業務負担軽減を要望しました。市教育長より、「ICT環境の整備につきましては、教育の質のさらなる向上につながるよう市当局と連携を図りながら、計画的に推進」「児童・生徒の情報活用能力の育成と、それを支える基本的なスキルの習得を図れるよう教職員の指導力の向上」「校務のICT化を積極的に推進し、教職員の業務負担軽減」との答弁を得ることができました。

③「わこう健康マイレージ」で健康増進を！

県では、ウォーキングを通じた健康づくりとして、「コバトン健康マイレージ」を実施しています。歩数計やスマートフォンを使用・登録し、歩数に応じたポイントで、賞品が当たります。「わこう健康マイレージ」は、さらに市独自のポイント制を取り入れ、賞品がもらえます。

要介護の原因第1位は、筋肉等の運動器疾患です。要介護を防ぐには、運動器の手入れが必要で、ウォーキングは有効です。「わこう健康マイレージ」の促進を要望しました。市保健福祉部長より、「市民の健康増進のために、事業の推進に努めてまいります」「健康に関する分析などを実施しながら事業を継続してまいります」との答弁を得ました。

富澤けいじの実績です！



下新倉二丁目のままだ橋で、自転車単独事故が発生。橋と道路の境目のくぼみに車輪を取られたのが原因でした。緊急で段差を埋めて補修しました。



公明党・わこうニュース

発行元：公明党朝霞総支部

2018年 秋号

ご相談はお気軽に！
青藤かつみ ☎201-5602
村田ふじ子 ☎464-8852
富澤けいじ ☎467-0897

9月定例会が8月30日～9月21日まで開催

平成30年度埼玉県和光市一般会計補正予算（第2号）から

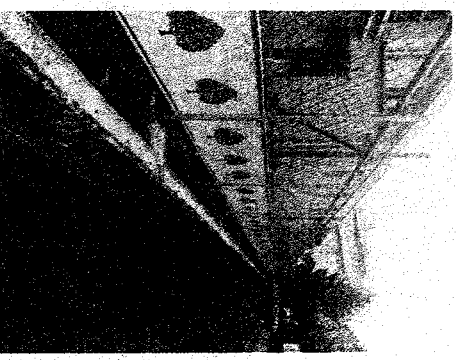
市内の小中学校から、危険なブロック塀を全て撤去しました

6月18日に発生した、大阪北部地震での小学校ブロック塀倒壊死亡事故を受け、和光市でも再度ブロック塀の総点検を開始しました。

その結果、地震前に改修を予定していた第五小を含め、新倉小、北原小、第三中の4校が建築基準法に適合しないことが分かり、6月から7月にかけて、ブロック塀の部分撤去を行いました（1597.1万円）

さらに、その後の調査で、白子小、新倉小、広沢小、第三小の4校が、建築基準法施行例の基準以下であることが分かり、危険なブロック塀を全て撤去しました。

今後も公明党は、子供のいのちを守る為、学校のブロック塀に限らず、全ての安全対策に全力を尽くします！



ブロック塀が撤去された第五小



政府は10月15日、公明党の主張を受け危険なブロック塀の改修などの費用も盛り込んだ総額9356億円の2018年度補正予算案を決定。大阪府北部地震で小学校のブロック塀が倒れ、小学生が死亡する事故が発生したことから、公立小中学校などの倒壊の危険がある塀の改修に259億円を充てる予定です。（2018年10月16日付公明新聞より）

2020年・東京オリ・パラ射撃会場がぐっと近くに！

和光市駅前にバス発着所増設、交差点の車線が増えます

和光市でも、2020年東京オリンピック・パラリンピックの射撃競技が、陸上自衛隊朝霞訓練場で行われます。開催時には、和光市駅前から会場まで、シャトルバスが運行されます。

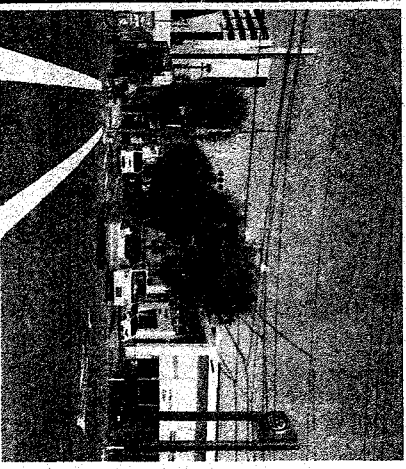
会場にすぐ移動できるよう、道路整備が補正予算で計上されました（市道406号線・

2002号線の道路詳細設計業務委託料・1500万円）。

和光市駅南口前には、シャトルバスの発着所が4ヶ所新設され、駅前通りの広沢原交差点が、2車線から3車線に増設されます（①直進・左折と②右折の2車線から、①左折②直進③右折の3車線）。



バス発着所が新設される駅前広場



広沢原交差点が3車線に増設